

ツキノワグマのエサ資源の豊凶予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の着果状況を調査し、豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの秋の出没傾向を予想しており、調査結果に基づく今秋の豊凶予測は以下のとおり。

1 調査内容

・調査箇所

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町の20カ所余りの地点
 (中能登町・宝達志水町・津幡町・金沢市・白山市・能美市・小松市
 加賀市)

・調査期間

8月下旬～9月上旬

・調査方法

各調査地点のブナ科植物の果実の着果状況を調査し、樹種毎に豊凶を予測

2 今秋の豊凶予測

樹種	豊凶予測
ブナ	並作(凶作)
ミズナラ	豊作(豊作)
コナラ	並作(豊作)

※()内は、昨年状況

(参考) 各年度の豊凶予測

区分	H16※	H18	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ブナ	×	▲	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○
ミズナラ	×	▲	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎
コナラ	×	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○
目撃件数	1006 (296)	333 (74)	58 (48)	353 (87)	60 (44)	126 (90)	147 (128)	256 (169)	195 (150)	246 (198)	— (167)

凡例	
大豊作	◎◎
豊作	◎
並作	○
凶作	▲
大凶作	×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※()内は9月19日時点の目撃件数